

平成28年9月20日

各報道機関文教担当記者 殿

医療イノベーション人材の養成をめざす 合同公開フォーラムを開催！

このたび、金沢大学医薬保健学域では、アメリカを拠点とし、創薬バイオベンチャーを起業して成功を収め、現在、S&R財団の理事長兼CEO、ジョンズホプキンス大学（医学領域）、マンスフィールド財団の理事を務める久能祐子（くのう さちこ）氏を迎え、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」の合同公開フォーラムを開催いたします。本フォーラムは、未来医療研究人材養成拠点形成事業テーマAに採択された10大学による合同公開フォーラムとなります。

本事業は、金沢大学が平成25年度に採択されたもので、これによって、医薬品、医療機器、診療技術の革新と医療産業の活性化を介して社会に貢献するため、優れた研究を実用化する能力を持つ医師を育成し、研究、臨床に加え医療革新(メディカルイノベーション)という「第三の道」で活躍する人材を輩出することをめざしています。

文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」
～テーマA メディカルイノベーション推進人材の養成～

合同公開フォーラム

日時 平成28年9月26日（月）13：00～

場所 金沢大学宝町キャンパス 十全講堂、医学部記念館（金沢市宝町13番1号）

対象 どなたでも参加いただけます

（参加申し込みは登録参加フォームにて受け付けます）

詳細 別添チラシのとおり

については、事前及び当日の取材・報道について、よろしく願いいたします。

【参考】文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業（メディカルイノベーション推進人材の育成）」とは世界の医療水準の向上及び日本の医療産業の活性化に多大に貢献するため、世界の最先端医療の研究・開発等をリードし、将来的にその成果を国内外に普及できる実行力を備えた人材（イノベーションを推進できる人材）を養成することを目的とし、新規性・独創性の高い特色ある取組にチャレンジする大学を支援する事業。

本件照会先：金沢大学医薬保健系事務部学生課医学学務係
メディカルイノベーションコース
プログラムマネジメント室 高田
TEL：076-265-2869

担当：金沢大学総務部広報室 井村
TEL：076-264-5024

文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業
「テーマA：メディカル・イノベーション推進人材の養成」

合同公開フォーラム

「世界の医療水準の向上及び日本の医療産業の活性化に多大に貢献するため、世界の最先端医療の研究・開発等をリードし、将来的にその成果を国内外に普及できる実行力を備えた人材（イノベーションを推進できる人材）を養成」本フォーラムでは、同事業に採択された10大学、他行政、産業界による医療イノベーション人材養成のための建設的な議論の機会といたします。

2016
9/26 [月] 13:00 ~

●場所：石川県金沢市宝町13番1号
金沢大学 宝町キャンパス
(十全講堂、記念館)

十全講堂／特別講演
記念館（2階）／学生との懇談、10大学ディスカッション

[入場無料]

主催：金沢大学医薬保健研究域

共催：金沢大学附属病院先端医療開発センター
金沢大学附属病院女性医師メンター
金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
金沢大学先端科学・イノベーション推進機構
金沢大学新学術創成研究機構
金沢大学スーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業



- 12:30 | [受付開始]
- 13:00 | [開演挨拶] 山崎 光悦 (金沢大学長)
- 13:05 | [来賓挨拶] 文部科学省
- 13:10 | [未来医療事業背景]
「イノベーションが受け継がれている街 ~金沢~」
山本 博 (金沢大学理事(国際・附属病院・同窓会担当)・副学長)
- 13:30 | [特別講演] 座長：金子 周一 (医薬保健学域長・研究域長/事業推進責任者)
「日本人女性科学者の挑戦
~研究者から起業家へ、そして社会的インパクト創生へ~」
久能 祐子
(S&R財団：理事長兼CEO、ジョンズホプキンス大学(医学領域)、マンスフィールド財団理事)
- 14:40 | [質疑応答] (医学部記念館へ移動・休憩)
久能先生と学生との懇談
- 15:30 | [Workshop] 10大学ディスカッション
座長：絹谷 清剛 (医薬保健研究域医学系教授/マネージメント室長)
- 17:00 | [閉会挨拶] 井関 尚一 (医薬保健研究域医学系教授/プロジェクトリーダー)
※フォーラム終了後、意見交換会が行われます(会費制)

- 医学類メディカルリサーチトレーニング(MRT)プログラム
- 大学院up-to-dateセミナー(全専攻対象)0.2単位として認定
- FD研修の対象となっています。
- 平成28年度第5回「人を対象とする医学系研究実施のための講習会」といたします。(教職員は参加の際、職員証をご持参下さい。出席確認を行います。)

[お問い合わせ先] メディカル・イノベーションコースプログラムマネージメント室

〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 医薬保健系事務部学生課医学学務係(F棟1階)
TEL：076-265-2869 FAX：076-234-4208 E-mail：t-mirai@adm.kanazawa-u.ac.jp

合同公開フォーラム

特別
講演

「日本人女性科学者の挑戦

～研究者から起業家へ、そして社会的インパクト創生へ～

講師

くのう さちこ
久能 祐子氏

(S&R財団：理事長兼CEO、ジョーンズホプキンス大学(医学領域)、マンスフィールド財団理事)

Profile

京都大学大学院工学系研究科で工学博士号を取得。ミュンヘン工科大学での研究員生活を経て、1980年代に株式会社アルテック・ウエノを共同創業。基礎研究、開発研究、製造、承認申請に関わり、1994年には、初めてのプロトン系緑内障治療薬となる「レスキュラ点眼薬」の商品化に成功した。

その後、アメリカへ拠点を移し、スキャンボ・ファーマシューティカルズ社を共同創業し初代CEOとなる。同社でも、プロトン系新薬の研究開発、会社経営に携わり、慢性特発性便秘症、オピオイド誘発便秘症、過敏性腸症候群治療薬「アミティーザ」の商品化に成功した。両社は、2000年代、相次いでIPO(株式公開)している。

さらに、2012年には、革新的ワクチン開発を目指すVLPセラピューティクスを共同創業した。社会起業家としては、S&R財団を設立し理事長兼CEOを務めるほか、ジョーンズホプキンス大学(医学領域)、マンスフィールド財団等の理事でもある。

2015年にはForbes誌の「アメリカで自力で成功を取めた女性50人」に選出されている。京都大学工学部卒、ジョージタウン大学経営学認定コース修了。



合同公開フォーラム参加方法

ご参加申し込み：登録参加フォームにて参加を受け付けます。

▶ URL <http://mirairyo.w3.kanazawa-u.ac.jp/sanka/>

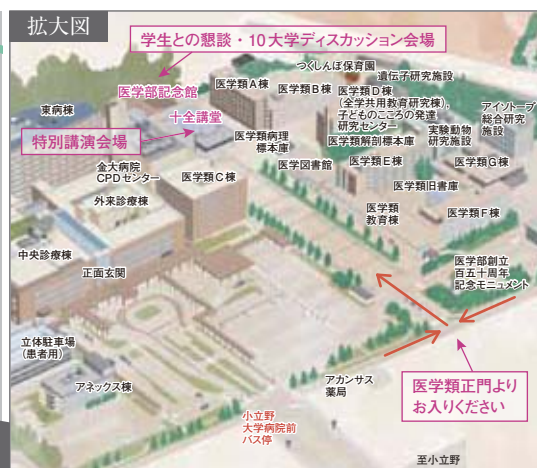
「第三の道：
医療革新を専門とする
医師の養成」の詳しい内容を
知りたい方はこちらへ



お問い合わせ先

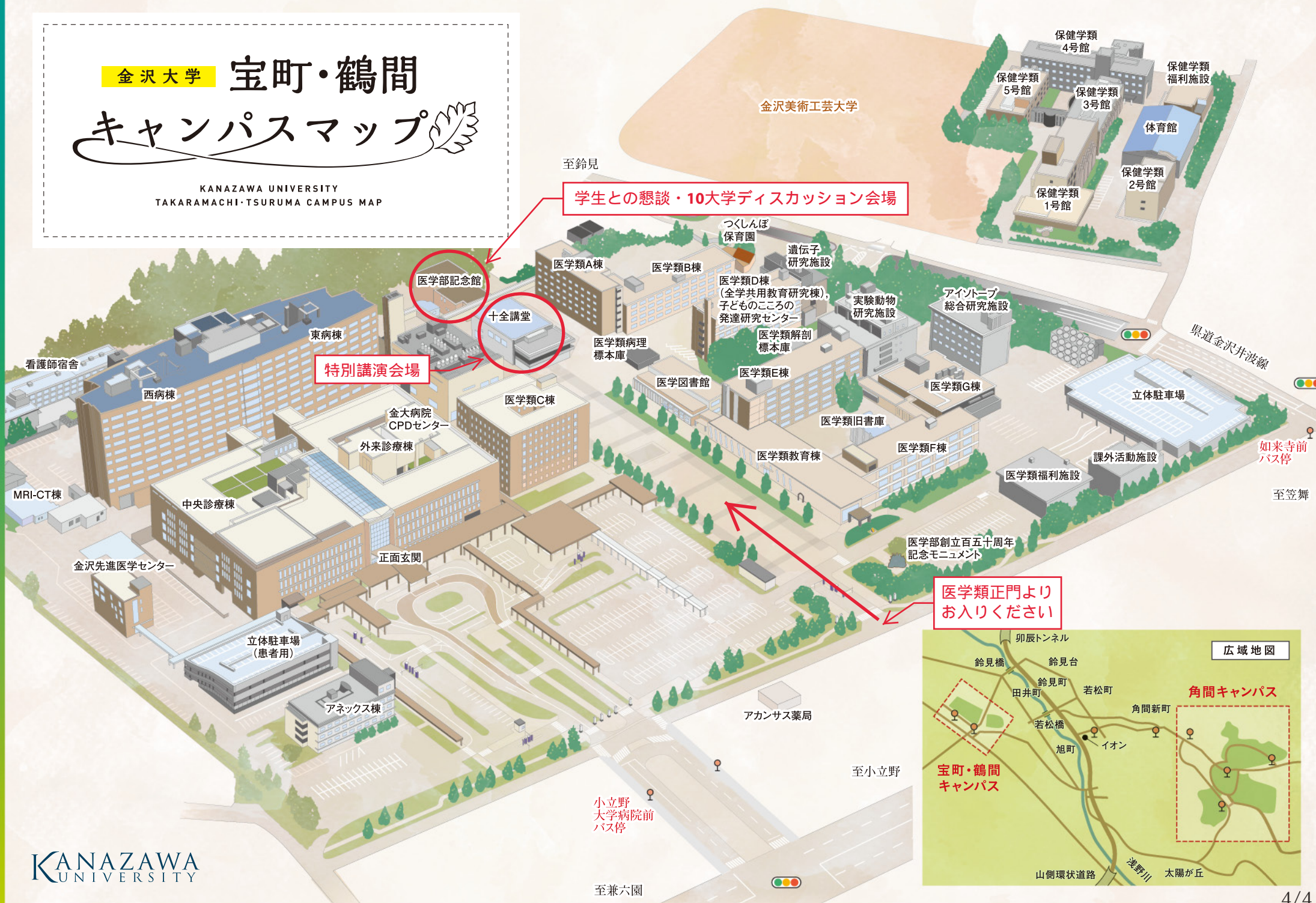
メディカル・イノベーションコース
プログラムマネージメント室

〒920-8640 石川県金沢市宝町13番1号
医薬保健系事務部学生課医学学務係(F棟1階)
TEL: 076-265-2869 FAX: 076-234-4208
E-mail: t-mirai@adm.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学 宝町・鶴間 キャンパスマップ

KANAZAWA UNIVERSITY
TAKARAMACHI-TSURUMA CAMPUS MAP



学生との懇談・10大学ディスカッション会場

医学類正門より
お入りください

